

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#33 令和2年9月15日 ~備える。かわさき~“コロナ禍での災害対応”

9月15日火曜日、かわさきコロナ情報をお伝えします。

それでは毎週のモニタリングについてお伝えします。

本日9月15日に新規の陽性者が報告された人数は23人になります。累計で1,321人になりました。直近3週間を見てまいります。

先週の9月7日から13日までの新規陽性者数が87名ということで、前週の72名からは少し増えているという状況にあります。全療養者数でありますけれども、これも微増で、165人となっています。全療養者数は、先週も御説明いたしましたけれども、入院中の方でありますとか宿泊療養施設で療養されている方、あるいは自宅療養されている方の合計という形になります。

病院で入院されている方でもありますけれども、全体で52名ということに9月13日時点となっております。そのうちの重傷者は5名ということになっております。毎週言っておりますけれども、感染症患者の方のための病床数は270床。そのうち重傷者の方のベッド数というのは28床用意できておりますので、ひっ迫している状況にはございません。

直近1週間の10万人当たりの新規陽性者数でありますけれども、5.69人ということで、前の週から比べると少し上がっている状況にあります。

週あたりの陽性者増加比ということでありますが、国の目安の1を少し上回って1.21という状況にございます。

感染経路不明者の割合ですが、63%ということで半分を超えているという状況が続いています。

直近1週間の陽性率につきましても4.36%ということで、前々週に比べて少し上がっている状態にあります。

さて毎週のモニタリングについての評価が岡部所長から出ておりますので、そのまま読み上げさせていただきますと思います。

新規陽性者数は87名。減少した前週からは、やや増加しておりますが、100人を切ったままになっています。本市では8月下旬あたりから微減傾向で、先週は減少傾向になりましたが、今週はそのまま停滞気味というところ です。

全体から見ればその割合は低いとはいえ、入院患者さんの中には重傷の方もおられます。できるだけ感染の広がりを少なくして、一人でも重症になる方が少なくなるよう、引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。

依然として不安定な天候が続いているため、気象情報にも気をつけて御覧いただきたいと思っております。

本市では避難所における新型コロナ対策についても併せて行えるように訓練なども行っております。災害への備えについてホームページや広報紙等も御覧になってください。

以上です。

先ほどの評価でも災害の備え、避難所ということがキーワードとして出ていましたけれども、本

日取り上げますのは川崎のコロナ禍での災害対応をまとめたタブロイド紙、「備える。かわさき」の号外版についてお伝えしたいと思います。

このタブロイド紙は、各区役所ですとか、出張所、それから保育園、幼稚園、市立学校などを通じて、子どもさんたちを通じて各家庭に配布される形式をとっています。今週中には学校の方には届きますので、各学校や幼稚園それぞれ少しずつ異なっておりますが、今月中には皆さんのお手元に届くのではないかなと思います。また後ほど御紹介しますが、ホームページでも御覧になれるので、是非御覧になっていただきたいと思います。

この中身でありますけども、「逃げ方をかえる」ということをテーマにしています。

浸水想定エリアに自分の家があるのかどうかというのを、まずは御確認いただくことが大事です。もし対象エリアになっていなければ、慌てて避難ということをせずに、どういう方法が自分の御家族にとって最適な方法なのかというのを事前に決めておくことが大切です。例えば御自宅の中で留まるという方法、あるいは事前に友達や親戚のところに避難するといったこと、過ごしやすい方法、より安全なところはどこかということ、しっかりと決めておくということがとても大切だと思います。

そんなことを書いてありますので、是非御覧になっていただいて、備えていただければと思います。

避難所のコロナ対策についても記載しております。例えば受付方法ですとか、どういった備蓄の備えがあるのか、どういう感染対策をやりながら避難所を構築していくのかということに記載させていただいています。自宅や親戚・友達の家も選択肢の一つではありますが、避難所に行くことが必要な方は、是非躊躇なく避難所に行っていただきたいと思います。

皆様のところで、非常用リュックを備えていただいている御家庭も多いかと思いますが、もしされていない方は、是非していただきたいと思います。そして、従来の非常用リュックに加えて、標語で「たします」を足していただきたいと思います。「た」は体温計、「し」は消毒液、「ます」はマスク。ということで、コロナ禍における避難所に必要な物、避難する際に「たします」を足していただきたいと思います。是非御覧になった方は、すぐに行動に移していただきたいと思います。

先ほども申し上げましたけれども、「備える。かわさき」は、ホームページでも御覧いただけます。「備える 第4号」で検索していただき、また「備える。かわさき」はシリーズものとなっておりますので、以前のものも見ていただき、防災・災害への備えをしっかりとやっていただきたいと思います。今週は以上です。